

平成25年中の交通事故発生状況

区 分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛 知 県	48,949	△ 702	219	△ 16	60,867	△ 709
稲 沢 市	826	19	5	0	998	△ 9

【愛知県の状況】

平成25年は、人身事故件数は、平成24年より702件少ない48,949件となり、大幅な減少となりました。交通事故死者数も219人（同16人減）に減少しましたが、依然として全国ワースト1位であり、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔交通死亡事故の主な特徴〕

年齢層別では、高齢者（65歳以上）が118人（同5人減）、一般（25～64歳）が79人（同3人減）、若者（16～24歳）が17人（同9人減）、こども（15歳以下）が5人（同1人増）となっており、高齢者の割合が全体の5割以上を占めています。

当事者別では、歩行者が81人（同8人減）、四輪車が60人（同3人減）、自転車が42人（同2人減）、自動二輪が19人（同5人減）、原動機付自転車が17人（同4人増）の順に多く、歩行者、四輪車の事故が目立ちます。

【稲沢市の状況】

平成25年の人身事故件数は、平成24年より19件増えた826件、負傷者数は、平成24年より9人減った998人となりました。交通事故死者数は、平成24年より増減なしの5人でした。

〔交通死亡事故の主な特徴〕

交通事故でなくなられた方5人の内4人が高齢者（自転車・歩行者）となっています。

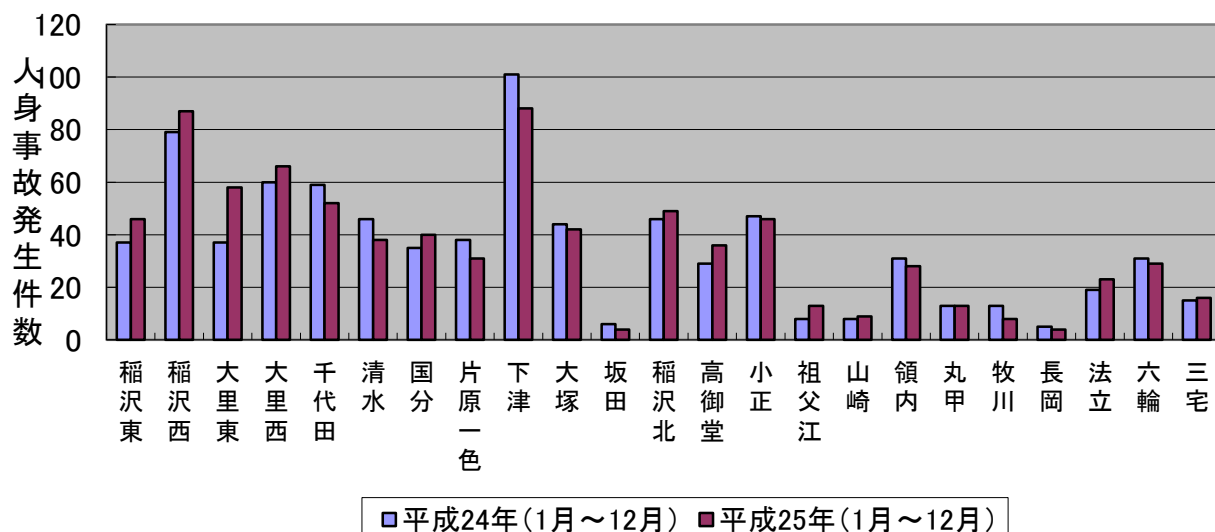
人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約68.4%を占めています。

また、自動車相互の事故が470件（同18件減）と最も多く、次いで自転車対車両の事故が202件（同33件増）となっております。

地域別では、稲沢683件（同19件増）、祖父江75件（同3件減）、平和68件（同3件増）となっています。

小学校区別では、下津、稲沢西、大里西の順で発生件数が多く、また、稲沢東、大里東、国分、高御堂、祖父江では、前年に比べ5件以上増加しています。

稲沢署校区別



【事故を起さない 事故に遭わないために】

- ・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。
- ・交差点や交差点付近では、よそ見、見落としに十分注意し、うっかりによる交通事故を減らしましょう。
- ・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。
- ・道路を横断する際は、左右をしっかりと確認し、無理な横断はやめましょう。

安全・安心のまち いなざわをつくりましょう。

